

2004年

沖電気高崎地区環境レポート



2004年11月1日

**沖電気工業株式会社
金融ソリューションカンパニー
高崎地区**

「沖電気高崎地区環境レポート」

この環境レポートは、2003年度（2003年4月1日～2004年3月31日）の沖電気高崎地区の環境保護に関する活動実績をもとに作成しました。

目次

- 1．ごあいさつ
- 2．高崎地区の事業概要
- 3．高崎地区のこれまでの取り組み
- 4．高崎地区の環境方針
- 5．高崎地区環境活動の推進体制
- 6．環境目標の達成状況
- 7．高崎地区の環境活動と成果
 - 7.1 CO₂排出量削減の取り組み
 - 7.2 省資源活動
 - 7.3 廃棄物の再資源化活動
 - 7.4 環境配慮型製品の開発
- 8．緊急時の訓練
- 9．環境法規制
- 10．環境会計
- 11．社会貢献活動
- 12．社外表彰



1. ごあいさつ

沖電気工業株式会社
金融ソリューションカンパニー
システム機器本部
本部長 清水 儀一

沖電気高崎地区環境レポートを発行するにあたり、当地区を代表いたしましてごあいさつ申し上げます。

当地区は、1958年（昭和33年）群馬県誘致企業第1号として、高崎工場での操業開始以来約半世紀にわたり、電子計算機およびその周辺機器から発券機、ATM等を開発、製造してまいりました。1994年（平成6年）に主たる生産を富岡工場に移し、2002年（平成14年）本庄工場へ集約しました。現在は、ハードウェア製品の設計・開発拠点として、新製品の開発設計と試作をしています。1997年（平成9年）にISO14001「環境マネジメントシステム」の認証を取得して以来、環境への取り組みを着実に実行してまいりました。

当地区は、ハードウェア製品の設計・開発拠点であることから、環境に配慮した製品の開発設計に重点を置き、引き続き活動を推進してまいります。近年環境に配慮した製品を取り巻く社会的環境は、大きく変化しております。特に、EU（欧州連合）が制定したRoHS指令では、2006年7月以降、EUに上市する電気・電子機器に対し、有害物質の使用を制限し、生産から廃棄に至る全ての段階で、環境や人の健康に及ぼす危険を、最小限にすることが求められております。また、中国を始めとした東南アジア各国においても、同様の法令が予定されております。これらの状況を踏まえ当地区では、製品に含有される有害物質の削減計画を策定し、取り組んでまいります。そのためには、グリーン調達の実施、鉛フリーはんだの推進などを重点施策とし、着実に実行してまいります。

最後に、この環境レポートが当地区の環境活動とその成果へのご理解、さらには皆様方とのコミュニケーションの一助となれば、幸いに存じます。

2 . 高崎地区の事業概要

高崎地区は、情報通信関連機器の開発拠点として製品環境負荷低減と生産活動の環境負荷低減という二つの柱で環境保護に取り組んでいます。

(1) 所在地	群馬県高崎市双葉町 3 番 1 号
(2) 工場設立	昭和 3 3 年 (1 9 5 8 年)
(3) 従業員数	1 , 6 9 7 名 (2 0 0 4 年 1 0 月 2 1 日 現在)
(4) 敷地面積	5 2 , 7 8 4 m ²
(5) 建築面積	3 1 , 7 4 7 m ²
(6) 用途地域	工業地域
(7) 事業内容	情報通信関連機器 (A T M、プリンター等) の 設計、開発および製造
(8) 関連会社および 協力会社数	2 1 社
(9) その他	第二種電気管理指定工場 公害防止管理者 (大気四種) 設置工場 高圧ガス第二種製造所 騒音 第四種区域 振動 第二種区域



3 . 高崎地区のこれまでの取り組み

高崎地区は、これまでに沖電気全社の環境活動と連携し、洗浄用フロン・エタン等の全廃に取り組んできましたが、お客様や地域の皆様の信頼をさらに高めるためにISO14001環境マネジメントシステムを1997年11月に認証取得しました。



< 高崎地区の活動 >

- 1992年 洗浄用特定フロン全廃
- 1993年 洗浄用トリクロロエタン全廃
- 1995年 めっき処理施設廃止
- 1997年 ISO14001 認証取得
- 1998年 洗浄用代替フロン全廃
- 2000年 ハロン消火器全廃
- 2001年 サイト環境レポート公開
- 2002年 ゼロエミッション達成

< 世の中の動き >

- 1989年 モントリオール議定書発効(オゾン層保護)
フロン 2000年、エタン 2005年全廃(オゾン会議)
- フロン・エタン 1996年全廃前倒し(締約国会議)
- 1996年 ISO14001 規格発効
- 1997年 京都議定書(地球温暖化)
- 2000年 循環型社会形成推進基本法制定

4 . 高崎地区の環境方針

高崎地区では以下の様な環境方針を策定し、この方針を基に環境活動に取り組んでいます。

OKI

沖電気高崎地区 環境方針

[環境理念]

沖電気高崎地区は、沖電気本社の「環境基本方針」に基き、情報社会の発展に寄与するコンピュータシステム、現金自動取引装置、自動発券機、プリンタなどの情報通信関連の商品を開発していく企業活動のあらゆる面において、地球環境および地域環境に関する保全活動を積極的に展開します。

[行動指針]

- 1) 高崎地区環境委員会を設置し、地球環境の保全活動を推進する。
- 2) 企業活動のあらゆる面において、環境に与える影響を的確に捉えて環境目的・目標を定め、環境マネジメントシステムおよび環境パフォーマンスの継続的向上を図るとともに、汚染の予防に努める。
- 3) 環境関連の法律、規制および協定を遵守するとともに、自主的な管理基準や改善計画を設定し、環境負荷の削減に努める。
- 4) 設計・開発段階において、商品の流通、使用、廃棄の各段階における環境影響を評価し、商品の省エネルギー設計、リサイクル化およびグリーン調達などを推進し、環境に配慮した商品開発に努める。
- 5) 施設・生産設備のエネルギーおよび資源効率を運用面、設備面より見直し、電力などの省エネルギー化を推進しCO₂削減に努める。
- 6) 紙屑、廃棄プラスチック、生ゴミなどの廃棄物については、発生源での削減およびリサイクル化の徹底に努める。
- 7) 業務の効率化、情報の電子化を推進し、ペーパーレス化などの省資源化に努める。
- 8) 環境教育や社内広報活動を通じて、高崎地区の全構成員に環境方針の理解と環境情報の周知を徹底し、環境保全に関する意識の向上を図る。
また、取引先に対しては、環境保全活動への理解と協力を求める。

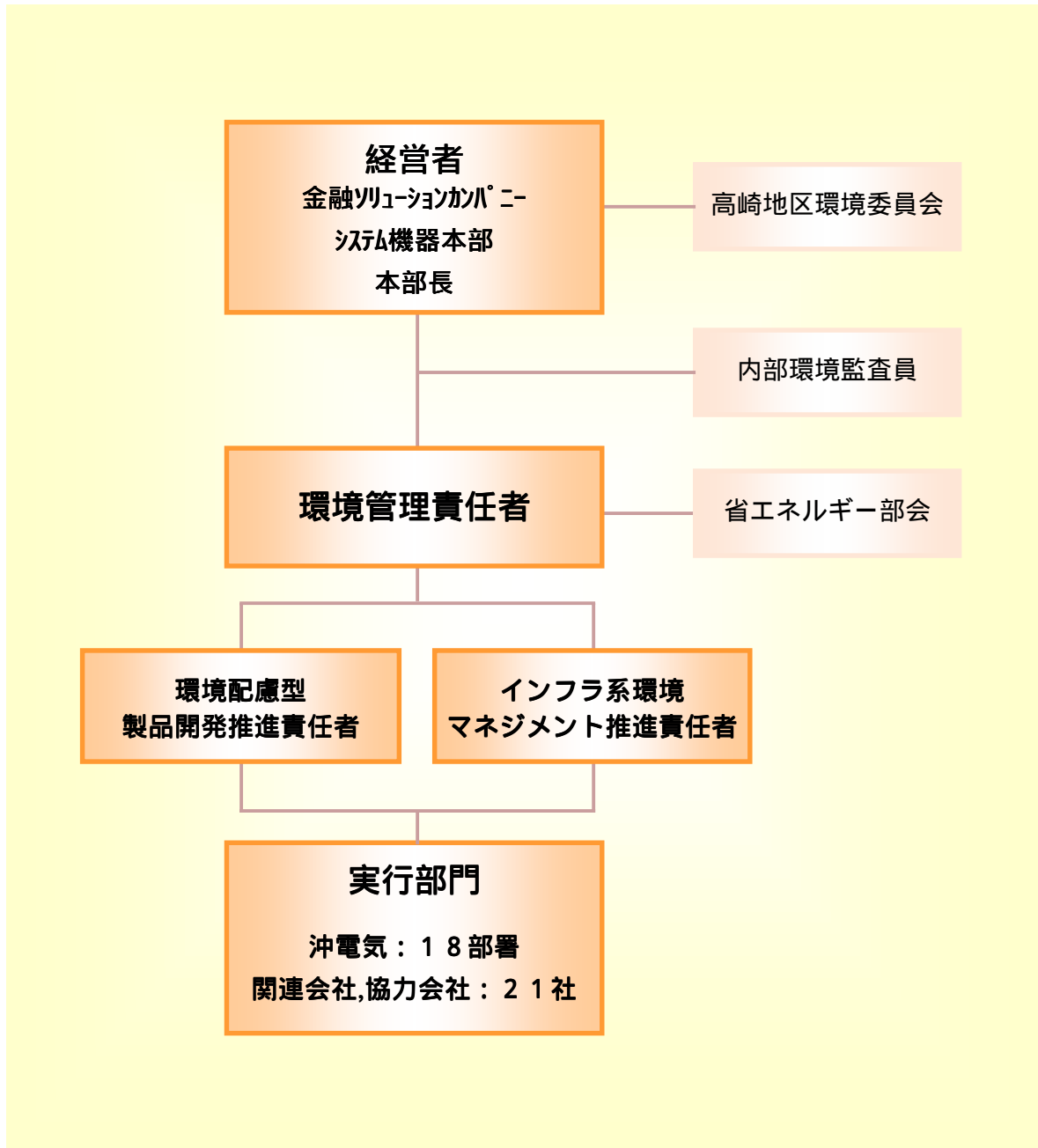
金融ソリューションカンパニー
システム機器本部
本部長 **清水 儀一**

~この環境方針は、外部からの要求に対して公表します~

1997年10月 策定
2004年 5月 第8版

5 . 高崎地区環境活動の推進体制

環境保護は高崎地区で働く全員の共通の問題ととらえ沖電気はもとより地区内の全ての関連会社および協力会社がひとつの推進組織で活動しています。



6 . 環境目標の達成状況

沖電気は、環境保護活動計画として「OKI エコ・プラン 2 1」を設定し社外に公表しています。

高崎地区では、これを受け具体的な環境保護活動計画として環境目標を定め活動を進めてきました。2003年度の主な活動結果は次の通りです。

分類	活動項目	環境目標	2003年度活動実績	評価	関連ページ
製品環境 負荷低減	IC商品促進	新規設計製品は OKI IC 商品登録基準を満たす	IC商品登録機種数 0 機種	×	p.12
	鉛入りはんだ全廃	新規設計品の国内生産基板に対する鉛フリーはんだの適用率 80%以上	適用率 100%達成		-
生産活動の環境負荷低減	エネルギー起源のCO ₂ 排出量削減	CO ₂ 排出量を 2010 年度までに 1990 年度比 45%削減	CO ₂ 排出量 1990 年度比 47.4%削減達成		P.9
	工場廃棄物削減	廃棄物の再資源化率を 99%以上	廃棄物の再資源化率 99.8%達成		P.11
	省資源化促進	紙の使用枚数 909 万枚以下	紙の使用枚数 767 万枚達成		P.10

注 : 目標達成、× : 目標未達



7. 高崎地区の環境活動と成果

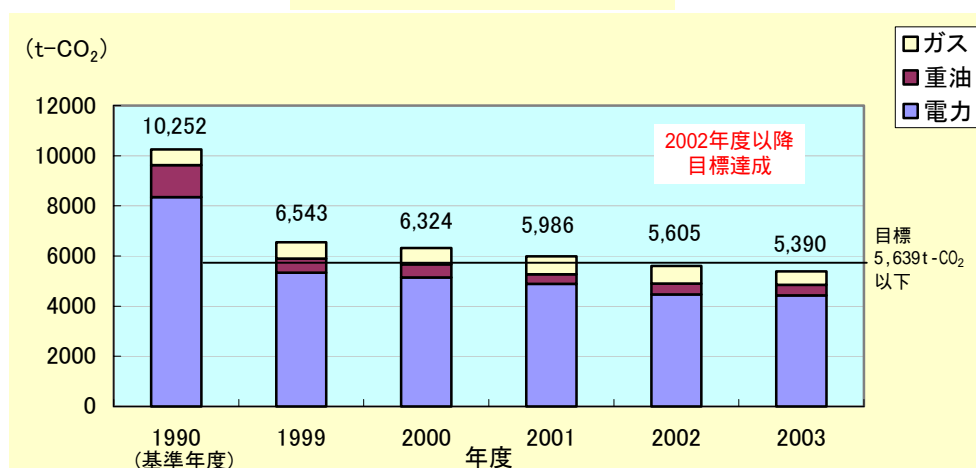
7.1 CO₂ 排出量削減の取り組み

高崎地区では、地球温暖化防止対策のひとつとして電力および化石燃料の消費により排出する「エネルギー起源のCO₂排出量」について削減目標を立てて活動しています。

目標値は、CO₂排出量を2010年度末までに1990年度比45%削減し、5,639 t-CO₂以下にすることです。高崎地区は、2002年度に目標を達成しました。

2003年度のCO₂排出量は5,390 t-CO₂で、1990年度比47.4%削減となり、当年度の目標を達成することができました。

CO₂ 排出量の推移

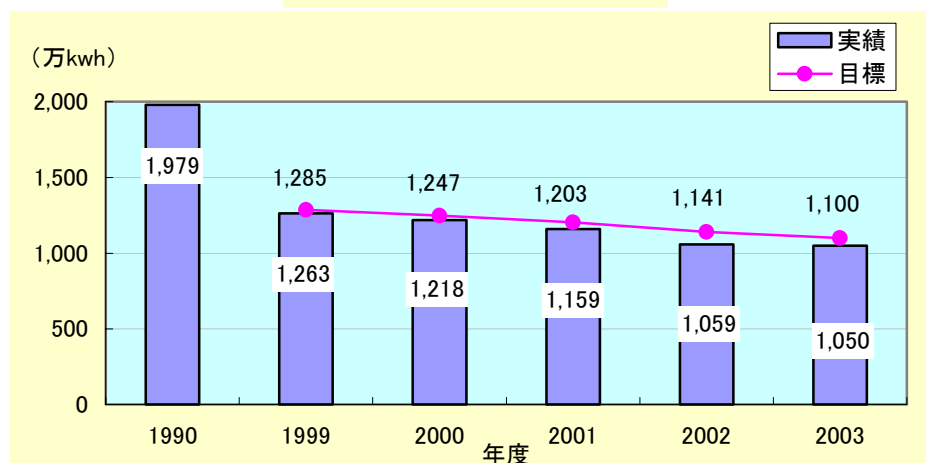


高崎地区では、CO₂排出比率の最も大きい電力について「省エネルギー部会」を中心に削減活動を推進しています。

2003年度は、前年度比較で年間消費電力量を90,000 kWh削減しました。省電力の主な取り組みは次のとおりです。

- ・パソコンの表示部をブラウン管(CRT)から液晶(LCD)に取替え(60台)
- ・空調機、電灯、パソコンの省エネ活動の継続

電力使用量の推移



7.2 省資源活動

高崎地区では、省資源活動として、居室でのコピー用紙削減、外部へのコピー依頼枚数削減、プリンターの印刷用紙削減を推進しています。

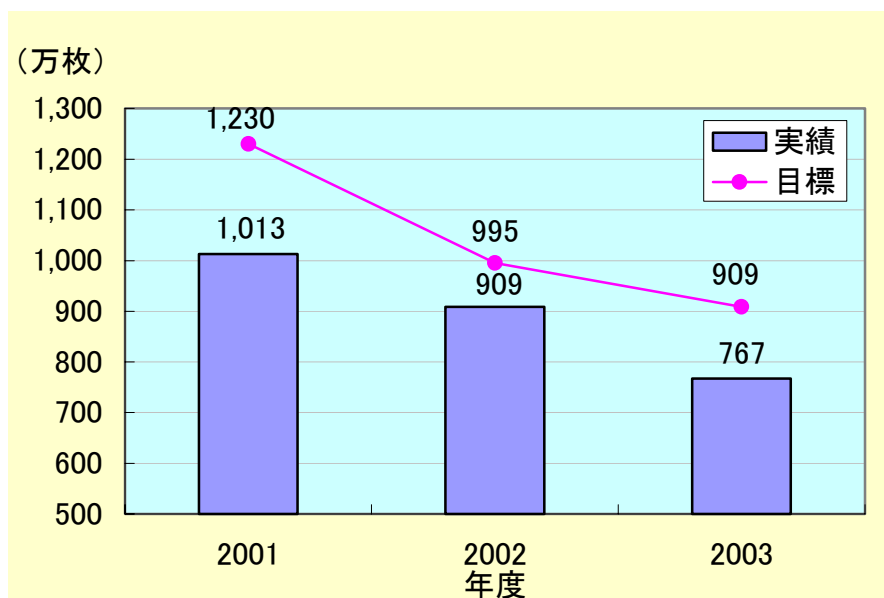
2003年度は前年度比較で、コピー枚数を142万枚削減（前年度比15.6%削減）しました。

費用面でも591万円の削減効果がありました。

削減の主な取り組みは次のとおりです。

- ・ プロジェクタ導入による紙使用量の削減
- ・ 両面コピーと縮小コピーの徹底
- ・ 文書の電子化促進
- ・ 裏紙の利用
- ・ 推進責任者によるコピー枚数管理の徹底

コピー枚数の推移



7.3 廃棄物の再資源化活動

設計・開発拠点である当地区においては、2002年度にゼロエミッション(注1)を達成しましたが、その状態を維持・向上させるため、さらなる再資源化率向上のための対策を行っています。

(1) 紙屑のリサイクル

開発拠点である当地区では紙屑の発生量が多く、それらの紙屑をリサイクルするため、徹底した分別・廃棄対策に取り組んで来ました。その一つとして、普段、近くの紙屑入れに捨てていたような紙屑も、リサイクル可能な紙はシュレッダーに掛けたり、「リサイクル紙」に分別するなどして、出来る限りリサイクルするよう努めています。

(2) 廃プラスチックのリサイクル

廃プラスチックは5種類に分別することにより、2002年度は再資源化率が30%にまで向上しましたが、さらに焼却灰を路盤材等にリサイクルすることにより、2003年度は100%にすることが出来ました。

(3) ガラス屑のリサイクル

清涼飲料水の空瓶を、ガラス瓶、道路舗装材、建築資材などにリサイクルするほか、今まで最終処分(埋立)していた他のガラス瓶、ガラス屑もコンクリート骨材、地盤改良材等にリサイクルし、ガラス屑の再資源化率もほぼ100%となりました。

(注1) ゼロエミッション：沖電気グループでは、一般廃棄物及び産業廃棄物の再資源化率が99%以上と定義しています。



フローア毎に設置された分別収集箱

7.4 環境配慮型製品の開発

沖電気では、お客様に環境に優しい製品を提供するため「OKI エコ商品社内認定制度」を運用しています。

この制度は、沖電気独自の環境基準を満たした製品を「OKI エコ商品」として社内認定し、お客様に製品の環境情報を提供する制度です。

高崎地区においてもこの認定基準をクリアすべく積極的な活動を行っています。2003年度は、新製品開発スケジュールの関係で「OKI エコ商品」認定製品はありませんでした。

エコ商品認定機種

分類	機種名
情報端末機器	オープン出納機 CM21
	多機能 ATM ATM21B シリーズ
パーソナルコンピュータ	if Station GH2 シリーズ
	if Station SS4 シリーズ

代表的なエコ商品

CM21



ATM21B



8 . 緊急時の訓練

緊急時を想定した以下のような訓練を担当部署全員で年1回実施しています。

薬品タンクの流出拡散防止の訓練

廃油槽の油流出防止の訓練

重油タンクの重油流出拡散防止の訓練

ボイラー灌水の流出拡散防止の訓練

の訓練状況

重油タンクへタンクローリーより給油中給油ホースが外れて重油が漏れだし、用水路に流れ出した場合を想定した訓練



9. 環境法規制

9.1 ばい煙管理の状況

当地区で保有するばい煙発生施設は、重油ボイラー 3 基、冷温水発生機 5 基があり、1997 年度よりそれぞれ規制値より厳しい自主基準値を定め運用管理を行っております。1997 年度以来、A 重油の低硫黄化、大型ボイラーの撤去、小型ガスボイラーの導入など環境影響を低減する施策を行ってまいりました。

測定項目	単 位	排出基準	自主基準値	2003 年度 測定値(最大値)
硫黄酸化物	m ³ N/h N	0.08	0.06	0.06
窒素酸化物	c m ³ /m ³ N	180	144	120
ばいじん	g/m ³ N	0.3	0.24	0.04

9.2 水質汚染防止の状況

地区から下水道に排出する水については、下水道流入口にて月一回の頻度で下記の分析項目について、測定しております。なお、BOD については自主管理値を一度超えましたが排水量調整をすることにより、以後問題なく推移しております。

その他の排水関連設備については、各設備の排水出口において、維持管理を行っております。

分析項目	単 位	高崎市下水道 排除基準	自主基準値	2003 年度 測定値(最大値)
PH	—	5 ~ 9	6.1 ~ 8.6	6.9 ~ 8.4
BOD	mg/l	600	267	380
リン	mg/l	32	8	4.7
窒素	mg/l	240	107	73
ヨウ素消費量	mg/l	220	48	19

9.3 地下水汚染防止

過去にめっき施設、塩素系溶剤洗浄施設があった経緯から、地区内周囲7カ所に地下水監視用井戸を設置し、下表の分析項目について測定しておりますが、例年環境基準以下の数値となっております。

分析項目	単 位	環境基準	1999	2000	2001	2002	2003
鉛	mg/l	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シアン化合物	mg/l	未検出	未検出	未検出	未検出	未検出	未検出
六価クロム	mg/l	0.05 以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満
トリクロエチレン	mg/l	0.03 以下	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.003	0.002 未満
1,1,1-トリクロエタン	mg/l	1.00 以下	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満

9.4 騒音・振動の遵法状況

特定施設に限らず、周辺地域を意識した場所6カ所を選定し、年一回敷地境界にて騒音・振動測定を実施しています。

[騒 音]

時間区分 \ 項 目	4 種区域規制値	自主基準値	2003 年度 測定値(最大値)
昼 間 8:00 ~ 18:00	70dB	68dB	63dB
朝(6:00 ~ 8:00) 夕(18:00 ~ 21:00)	65dB	63dB	54dB
夜 間 21:00 ~ 6:00	55dB	54dB	52dB

[振 動]

時間区分 \ 項 目	2 種区域規制値	自主基準値	2003 年度 測定値(最大値)
昼 間 8:00 ~ 18:00	70dB	49dB	46dB
夜 間 21:00 ~ 6:00	65dB	45dB	28dB

10. 環境会計

環境会計とは、環境保全に関する投資や費用などの支出とそれらによる効果を定量的に把握する仕組みです。

高崎地区では、沖電気全体の環境会計算出基準に基づいて算出しています。

2003年度集計結果を以下に示します。

環境保全コストは、投資額83万円、費用額21,583万円となりました。環境保全効果は、廃棄物最終処分量が再資源化率向上の取り組みにより前年度比92.5%減少しました。またCO₂排出量も前年度比3.8%減少しました。環境保全に伴う経済効果の内、実質的效果額は1,115万円でした。

環境保全コスト

投資額：83万円（前年度：62万円）

費用額：21,583万円（前年度：15,718万円）

（単位：万円）

分類	主な取組内容	費用額
事業エリア内費用	環境関連設備維持管理費、原価償却費等	2,892
上・下流費用	グリーン調達関連費用等	2,289
管理活動費用	環境マネジメント運用費用等	14,237
研究開発費用	環境負荷低減の研究開発費用等	2,110
環境損傷対応費用	汚染負荷量賦課金	55

環境保全に係わる効果

環境保全効果

環境負荷指標	主な取組内容	負荷(総量)	前年度との差
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	エネルギー使用量削減	5,390	215減少
廃棄物最終処分量(t)	廃棄物削減	0.6	7減少

環境保全対策に伴う実質的效果額：1,115万円

（単位：万円）

実質的效果分類	主な取組内容	効果額
費用削減効果	エネルギー使用量削減、廃棄物処理費用削減	1,061
実収入効果	有価物の売却等	54

11. 社会貢献活動

森林ボランティアへ参加

2003年7月12日(土)～13日(日)の2日間、昨年に引き続き群馬県上野村で森林ボランティアを行いました。上野村の林道の路肩は、夏場生え茂った草が急成長します。成長した草は、幅の狭い林道を更に狭くしたり、視界を遮ったりし、交通の妨げになります。そのため、上野村では、夏場に2回、下草を刈ります。今回の活動は、そのお手伝いの一環とし“スーパー林道”の入り口から奥へ登り約5km区間の路肩の下草刈りを行いました。高崎地区からは8名が参加し汗を流しました。



参加者全員で



作業の様子

高崎市「環境フェア」に参加

高崎市が「環境の日」にちなんで開催する「環境フェア」は地元企業が出展し、市民団体がリサイクルバザーを開くイベントで高崎地区も参加しています。2002年度は、情報処理装置の開発・設計を担当する(株)沖情報システムズから専用紙を繰り返し使えるプリンタ(エコプリ®)を出展しました。

エコプリ®は「リサーマル用紙」を使用し、印刷された文字を消去して、再び新しい内容を印刷することができるプリンタです。実用レベルで約500回の再印刷が可能のため、用紙の使用量が「ほぼゼロ」となります。また、トナーやインクなどの消耗品が必要ないため、これらの廃棄物もほとんど発生しません。



高崎市環境フェアに出展したエコプリ®

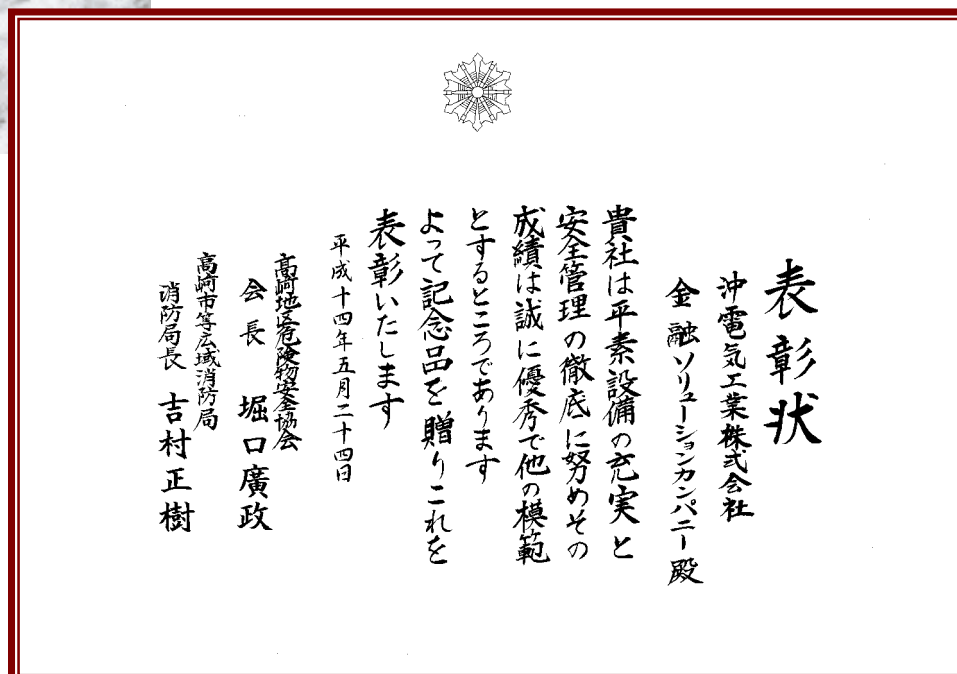


エコプリ®外観

12. 社外表彰

高崎地区では、環境保護の取り組みに対して以下の賞をいただきました。

年 月	受賞名(主催)	受賞の理由
2001年 5月	危険物取扱者表彰 (高崎地区危険物安全協会)	危険物取扱者として長年に渡り安全管理の向上に努めた
2001年10月	高圧ガス保安功労者表彰 (群馬県)	高圧ガスの保守・保安活動を推進し災害の防止と安全確保に貢献した
2002年 5月	優良事業所表彰 (高崎地区危険物安全協会)	危険物の取扱いに関して設備の充実と安全管理の徹底に努めた



2002年5月 優良事業所表彰



< お問い合わせ先 >

沖電気工業株式会社 金融ソリューションカンパニー
ビジネスサポート本部

〒370 - 8585

群馬県高崎市双葉町3番1号

TEL : 027 - 325 - 1111 (代)

FAX : 027 - 324 - 2185